

《開幕》藤本壮介の建築：原初・未来・森

2025年7月2日(水)ー11月9日(日) 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)

2025年大阪・関西万博の象徴《大屋根リング》の設計者、藤本壮介初の大規模個展

森美術館は、2025年7月2日(水)から11月9日(日)まで、「藤本壮介の建築：原初・未来・森」を開催します。

藤本壮介(1971年、北海道生まれ)は東京とパリ、深圳に設計事務所を構え、個人住宅から大学、商業施設、ホテル、複合施設まで、世界各地でさまざまなプロジェクトを展開しています。2000年の《青森県立美術館設計競技案》で注目を集めたのち、《武蔵野美術大学美術館・図書館》(2010年、東京)、《サーペントイン・ギャラリー・パビリオン2013》(ロンドン)、近年では集合住宅《ラルブル・ブラン(白い樹)》(2019年、フランス、モンペリエ)や音楽複合施設《ハンガリー音楽の家》(2021年、ブダペスト)などのプロジェクトを次々と完成させ、高い評価を得てきました。現在開催中の2025年大阪・関西万博では会場デザインプロデューサーを務めるなど、いま、最も注目される日本の建築家の一人です。

本展は、藤本にとって初の大規模個展です。活動初期から世界各地で現在進行中のプロジェクトまで8セクション構成で網羅的に紹介し、約30年にわたる歩みや建築的特徴、思想を概観します。展示には、模型や設計図面、竣工写真に加え、インスタレーションや空間を体験できる大型模型、モックアップ(試作モデル)なども含まれ、建築に携わる人だけでなく、だれもが藤本建築のエッセンスを体感できる、現代美術館ならではの展覧会です。さらに、藤本による未来の都市像の提案を通し、建築の存在意義や可能性についての考察も試みます。

環境への配慮、人と人との変わりゆく関係性、分断されたコミュニティをつなぐ機能、テクノロジーの発展に影響される生活など、今日、建築や都市には従来以上の役割を担うことが求められています。そのような時代に、建築は私たちの暮らしをどう変えうるのか。藤本の実践をとおして、みなさんとともに考えます。



《ラルブル・ブラン(白い樹)》
2019年
フランス、モンペリエ
撮影：イワン・バーン



2025年大阪・関西万博 《大屋根リング》
2025年
提供：2025年日本国際博覧会協会

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

藤本壮介 メッセージ

今回の個展は、いわゆる回顧展というより、現在進行形で、むしろ未来を向いているものです。これまでの集大成であると同時に、これからの方向性を模索する展覧会になると感じています。建築家とは、人と人、人と自然の関係を紡ぐ「場」を作る仕事でもあり、それは私にとっては自然と人工が溶け合う「未来の森」のような場所だといえるかもしれません。さまざまな価値観がバラバラであることの良さと寂しさが行き交うこの時代に、そこに豊かな「つながり」を作り出せないかと模索しています。「こんな建物や街で暮らしたら、世界はどう見えてくるのだろう」とみなさんの想像と希望が膨らみ、未来をポジティブに考えるきっかけとなれば嬉しいです。

略歴

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、設計活動を開始し、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞《ラルブル・プラン（白い樹）》に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、「2025年大阪・関西万博」の会場デザインプロデューサーに就任。2024年には《仙台市（仮称）国際センター駅北地区複合施設》（2031年竣工予定）の基本設計者に選定される。主なプロジェクトに、《House N》（2008年、大分）、《武蔵野美術大学美術館・図書館》（2010年、東京）、《House NA》（2011年、東京）、《サーペントイン・ギャラリー・パビリオン2013》（ロンドン）、《ラルブル・プラン（白い樹）》（2019年、フランス、モンペリエ）、《白井屋ホテル》（2020年、群馬）、《マルホンまきあーとテラス（石巻市複合文化施設）》（2021年、宮城）、《ハンガリー音楽の家》（2021年、ブダペスト）など。



撮影：デビッド・ヴィンティナー

開催概要

展覧会名：藤本壮介の建築：原初・未来・森

主催：森美術館

助成：文化芸術活動基盤強化基金（クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業）、独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人石川文化振興財団

協賛：株式会社大林組、株式会社ジンズホールディングス、鹿島建設株式会社、株式会社きんでん、NOT A HOTEL 株式会社、SANEI 株式会社、清水建設株式会社、住友林業株式会社、ルイナール、株式会社竹中工務店、トヨタ自動車株式会社、サンユー建設株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、アラップ、フジテック株式会社、前田建設工業株式会社、三機工業株式会社

企画：近藤健一（森美術館シニア・キュレーター）、椿 玲子（森美術館キュレーター）

コラボレーター：幅 允孝（ブックディレクター、有限会社バッハ代表）、倉方俊輔（建築史家、大阪公立大学教授）、宮田裕章（データサイエンティスト、慶應義塾大学教授）

会期：2025年7月2日（水）～11月9日（日）

会場：森美術館（東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階）

開催時間：10:00-22:00（火曜日のみ17:00まで）

* 入館は閉館時間の30分前まで * 会期中無休 * ただし、8月27日（水）は17:00まで、9月23日（火）は22:00まで

入館料：

	〔平日〕		〔土・日・休日〕	
	当日窓口	オンライン	当日窓口	オンライン
一般	2,300円	2,100円	2,500円	2,300円
学生（高校・大学生）	1,400円	1,300円	1,500円	1,400円
中学生以下	無料			
シニア（65歳以上）	2,000円	1,800円	2,200円	2,000円

* 事前予約制（日時指定券）を導入しています。専用オンラインサイトから「日時指定券」の購入が可能です。

* 当日、日時指定枠に空きがある場合は、事前予約なしでご入館いただけます。

* 表示料金は消費税込。

* 本展のチケットで、同時開催プログラム「MAMコレクション020：世界は小さな物語のなかに一歩道基行、ヴァンディー・ラッタナ、ジャン・オー（張鷟）、ツァオ・フェイ（曹斐）」、「MAMプロジェクト033：クリスティーン・サン・キム」もご覧いただけます。

一般のお問い合わせ：Tel：050-5541-8600（ハローダイヤル） 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局（共同ピーアール内）：幡井、日比、伊原

Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

本展のタイトルについて

北海道・旭川の隣町である自然豊かな東神楽町で育った藤本にとって、北海道の雑木林は原風景です。同様に、東京のような巨大都市の、入り組んだ路地や雑多なものが併存するありようにも、「乱雑さの中にゆるやかな秩序がある」と森の要素を見出しています。小さい枝や葉などによって構成される森も、路地に存在する植木鉢や自転車、看板など小さなものも、ともに「ヒューマンスケール」です。そして森も都市も複層的であり、また、命が生まれ循環する場でもあります。森は人類誕生以前からの原初的な存在ですが、この「森」という概念は藤本の創造における核の1つであり、活動初期から現在まで、さまざまな形で具現化されています。そして藤本はこの概念が未来の建築や社会のモデルとなると考えるのです。本展の副題「原初・未来・森」には、そんな藤本の想いが込められています。



本展のみどころ

■ 初の大規模個展。約30年にわたる主要プロジェクトを紹介

無名の新人建築家だった藤本は、2000年の《青森県立美術館設計競技案》で建築家・伊東豊雄などから高い評価を受け2位に選出され、一躍建築界の注目を集めます。その後、「書物の森」をコンセプトに渦巻き状に書架が並ぶ《武蔵野美術大学美術館・図書館》、白色のスチール・パイプを立体格子状に組み合わせたパビリオン《サーペントイン・ギャラリー・パビリオン2013》、樹木から葉が広がるように大きなバルコニーが多数配置された集合住宅《ラルブル・ブラン(白い樹)》、公園の中の緑に溶け込み自然と建築物との境界を曖昧にする音楽複合施設《ハンガリー音楽の家》などのプロジェクトを次々と手掛けてきました。現在も《仙台市(仮称)国際センター駅北地区複合施設》(2031年竣工予定、宮城)、ヨーロッパでの複合都市計画など、多数のプロジェクトが進行しています。本展では、活動初期から世界各地で現在進行中のプロジェクトまで、約30年の活動の歩みを8セクション構成で網羅的に紹介します。

■ 2025年大阪・関西万博《大屋根リング》を展示室内の各所で紹介

藤本が会場デザインプロデューサーを務める2025年大阪・関西万博の象徴ともいえる、《大屋根リング》のプロジェクトを紹介します。5分の1部分模型や外観写真、構想から竣工までの関連資料のほか、大型インスタレーション《思考の森》(2025年)に含まれる模型など、展示室内の各所でさまざまな角度からリングのコンセプトに迫ります。



2025年大阪・関西万博 《大屋根リング》
2025年
提供：2025年日本国際博覧会協会

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

■ 従来の建築展の在り方を刷新。現代美術館での建築展の可能性を探求

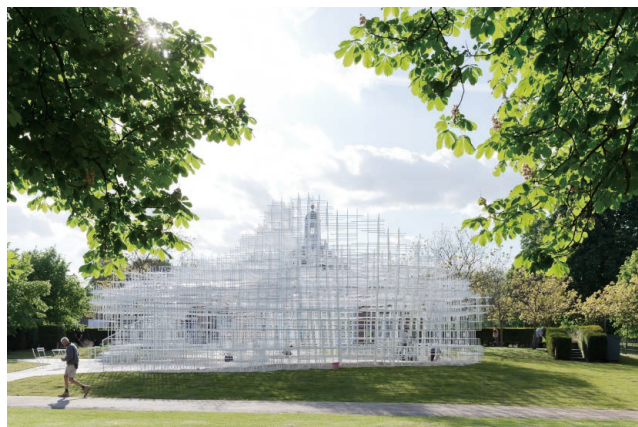
本展では、これまでの建築展で中心となっていた模型や設計図面、竣工写真だけでなく、藤本が設計した空間を体感できる大型模型、思考の過程を実験的に表現するスタディや、藤本の創作の源である「森」をコンセプトにした新作の大型インスタレーション、映像を投影することで人の動きを可視化する模型、藤本の建築作品を擬人化したぬいぐるみ同士が演劇のように対話を行う作品なども展示します。藤本の世界観をより視覚的・聴覚的に体感できる、現代美術館ならではの建築展のあり方を探求します。

■ 他のクリエイターや研究者とコラボレーション

《白井屋ホテル》(2020年、群馬)では、現代美術作家やデザイナーが、藤本が手がけた空間に呼応する形で作品を制作。2025年大阪・関西万博では、自身の発案で若手建築家がトイレや休憩所を設計する機会を創出するなど、藤本はこれまでさまざまなクリエイターと協働を行ってきました。本展でも、倉方俊輔(建築史家、大阪公立大学教授)、幅允孝(ブックディレクター、有限会社バッハ代表)、宮田裕章(データサイエンティスト、慶應義塾大学教授)とのコラボレーションを行います。



《武蔵野美術大学美術館・図書館》
2010年
東京
撮影：阿野太一



《サーペンタイン・ギャラリー・パビリオン2013》
2013年
ロンドン
撮影：イワン・バーン



《ハンガリー音楽の家》
2021年
ブダペスト
撮影：イワン・バーン



《白井屋ホテル》
2020年
群馬
撮影：田中克昌

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

本展の構成

1 思考の森

活動初期から現在計画中のものまで、藤本の100を超えるプロジェクトを紹介する大型インスタレーション《思考の森》。300㎡を超える空間で藤本建築の全貌を表現します。模型や素材、アイデアの断片であるオブジェなどが、藤本建築の3つの系譜に分類され年代順に配置されて、1つの「森」を構成します。3つの系譜とは、閉鎖的な境界線が外部に開かれる「ひらかれ かこわれ」、空間の用途や性質が曖昧で多義的な「未分化」、一つの建築が多くのパーツで構成される「たくさんのたくさん」で、藤本建築の根幹をなすものです。

2 軌跡の森一年表

倉方俊輔監修の下で制作された、藤本の活動の軌跡を総覧する年表です。東京大学を卒業した1994年から今後竣工予定のものまで藤本による96のプロジェクト、同時期に竣工した国内および日本人建築家による主要作品、国内外の建築業界や社会一般の出来事などが掲載されています。また、各時代に何を重視していたのか読み取れる藤本の言葉に加え、作品写真のスライドショー、本人のインタビュー映像も展示することで、藤本建築を歴史的文脈で読み解くことを試みます。

3 あわいの図書室

あわい間をコンセプトとするブックラウンジを、窓から景色の見える展示室に設けます。幅允孝が藤本建築から着想を得た5つのテーマ「森 自然と都市」「混沌と秩序」「大地の記憶」「重なり合う声」「未完の風景」により選んだ書籍40冊が1冊ずつ椅子に置かれ、椅子には本から抜粋された言葉が散りばめられます。読書に没頭したり、藤本が森のようだと評する都市風景を眺めながら休憩したりと、「本を読む／読まない」の「間」としての空間が立ち現れます。

4 ゆらめきの森

利用者や居住者の動きを表現したアニメーションを建築模型に投影し、建築そのものではなく人の動きに焦点を当てます。学生たちが集い、談話し、交流する《エコール・ポリテクニク・ラーニングセンター》(2023年、フランス、サクレ)、家族が時に離れ時に一緒に過ごす《T house》(2005年、群馬)、子どもたちがあちこちで遊び回り、斜面を登り下りする《UNIQLO PARK 横浜ベイサイド店》(2020年、神奈川)など藤本の5つのプロジェクトを建築図面と共に紹介します。

5 開かれた円環

2025年大阪・関西万博のシンボルで世界最大の木造建築物《大屋根リング》(2025年)の5分の1部分模型(高さ4m超)を中心に、構想段階のスケッチや記録写真、リングで使用された日本の伝統的な貫(ぬき)接合技術を紹介するモックアップ、藤本のインタビュー映像などによって、リングを様々な角度から掘り下げます。また求心性と発散性を同時に併せ持ち、分断を超えたつながりを象徴する「開かれた円環」というコンセプトに焦点を当て、《ハンガリー音楽の家》など関連する12プロジェクトの模型を展示します。

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

6 めいぐるみたちの森のざわめき

《ラルブル・ブラン(白い樹)》、《太宰府天満宮 仮殿》(2023年、福岡)など、藤本が手がけた9つの建築がめいぐるみとなり対話をするインスタレーション。明るく話好き、寡黙で真面目などの性格が設定された建築のめいぐるみたちは、お互いについてのユーモラスな会話を行います。会話からは、各プロジェクトの特徴やそれらが設計された背景などを知ることができます。また、藤本によるスケッチも多数展示されます。



7 たくさんのひとつの森

藤本が2024年にコンペで選出され、基本設計を手掛けている音楽ホール兼震災メモリアル《仙台市(仮称)国際センター駅北地区複合施設》を紹介。建物の構造が体感できる15分の1の大型吊模型を中心に、テーマ「たくさんの/ひとつの響き」が具現化された設計プロセスを見せる模型や資料を展示。また「ばらばらでありひとつであり」というコンセプトに基づいて設計されたプロジェクトの模型と藤本のインタビュー映像、さらに70点の主要プロジェクトのコンセプト・ドローイングにより藤本建築を複合的に紹介します。



《仙台市(仮称)国際センター駅北地区複合施設》
2031年竣工予定
宮城
© Sou Fujimoto Architects

8 未来の森 原初の森ー共鳴都市 2025

この未来都市の提案は、藤本壮介と宮田裕章によって考案されました。模型と映像で表現される、大小様々な球体状の構造体が複雑に組み合わさった未来都市は、全体で高さ500m程度の範囲に収まります。そこでは、住宅、学校、オフィスといった都市生活に必要なものが備わっています。立体的に組み合わされた無数の球体群は、「森」と同様、絶対的な中心を持たず多方向に開かれ、人々が複層的に関係を構築する新たなコミュニティ形成が意図されています。

最新のプレス画像は、こちらのURLより申請、ダウンロードいただけます。

<https://tayori.com/f/soufujimoto/>

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

?! 展覧会関連プログラム

■ シンポジウム「建築の可能性をめぐって—藤本壮介の建築を起点に—」

※日英同時通訳、手話同時通訳付

本展の開幕にあわせ、藤本壮介の建築思想とその実践を多角的に捉えるシンポジウムを開催します。セッション1では、建築家の妹島和世氏と塚本由晴氏を登壇者に迎え、本展の展示内容を議論の起点に、藤本のこれまでの取り組みを振り返りながら、現代における建築の意義や今後の可能性を探ります。セッション2では、田中仁氏、宮田裕章氏を登壇者に迎え、《白井屋ホテル》(2020年、群馬)や、《(仮称)Co-Innovation University》(2024年[構想]、岐阜)といった、両氏が深く関わるプロジェクトを手がかりに、建築と地方社会との関係、街づくりの未来について議論を深めます。

セッション1

出演: 妹島和世(建築家)、塚本由晴(建築家)、藤本壮介

モデレーター: 近藤健一(森美術館シニア・キュレーター)

セッション2

出演: 田中 仁(株式会社ジンズホールディングス代表取締役CEO)、宮田裕章(データサイエンティスト、慶應義塾大学教授)、藤本壮介

日時: 2025年7月6日(日)14:00–17:00(開場: 13:30)

会場: TOKYO NODE HALL(虎ノ門ヒルズ ステーションタワー46階)

定員: 300名(要予約、先着順)

料金: 1,000円(税込) * 本チケットで展覧会をご覧いただけません。展覧会チケットは別途ご購入ください。

学生限定! シンポジウム参加者に本展割引クーポンを配布

本シンポジウム受付時に学生証をご提示いただいた方には、森美術館オンラインチケットで展覧会チケットを購入時に、9月30日まで学生料金が500円引きとなるクーポンコードをお渡しします。他の割引との併用はできません。

協力: TOKYO NODE

お申し込み: 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

■ トークセッション「建築の次代をひらく」

※日本語のみ、手話同時通訳付

建築の未来は、どのようにかたちづくられていくのでしょうか。藤本壮介と、その活動に注目が集まる4人の新進建築家—秋吉浩気、金野千恵、中川エリカ、萬代基介の各氏が一堂に会し、トークセッションを行います。これまで手がけてきたプロジェクトを出発点に、それぞれの視点を交差させながら、次代をひらく建築の在り方を語ります。

出演: 秋吉浩気(VUILD株式会社代表取締役CEO、建築家、メタアーキテクト)、金野千恵(建築家)、中川エリカ(建築家)、萬代基介(建築家)、藤本壮介

モデレーター: 椿 玲子(森美術館キュレーター)

日時: 2025年8月8日(金)18:30–20:30(開場: 18:15)

会場: 森美術館オーデトリウム(六本木ヒルズ森タワー53階)

定員: 70名(要予約、先着順)

料金: 無料(ただし、当日有効の本展覧会チケットが必要です)

お申し込み: 受付は終了しました

* 手話同時通訳をご希望の方は、イベント名を明記のうえ、2025年7月24日(木)までに mam-learning@mori.co.jp へご連絡ください。

プレスリリース お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

■トークセッション「未来の都市像とは？」※日本語のみ、手話同時通訳付

本展最後のセクションでは、藤本と宮田裕章氏の対話から生まれた未来都市の提案が展示されています。この都市は、大小さまざまな球体状の構造体が複雑に組み合わせられたもので、生活に必要なすべての機能を備え、「森」と同様、中心を持たず多方向に開かれています。本トークセッションでは、建築史家の倉方俊輔氏を交え、この都市提案が生まれた背景やその特徴について紹介しながら、未来の都市像について考えます。

出演：倉方俊輔（建築史家、大阪公立大学教授）、宮田裕章（データサイエンティスト、慶應義塾大学教授）、藤本壮介

モデレーター：近藤健一（森美術館シニア・キュレーター）

日時：2025年10月19日（日）14:00-16:00（開場：13:45） **会場：**森美術館オーディトリウム（六本木ヒルズ森タワー53階）

定員：70名（要予約、先着順） **料金：**無料（ただし、当日有効の本展覧会チケットが必要です）

申込開始日：8月20日（水） **お申し込み：**森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

*手話同時通訳をご希望の方は、イベント名を明記のうえ、2025年10月5日（日）までに mam-learning@mori.co.jp へご連絡ください。

■藤本壮介ギャラリートーク※日本語のみ

藤本壮介と本展のキュレーターが、閉館後の展示室内でツアー形式のトークを行います。

*展覧会チケット料金を含みます

第1回（学生限定）

出演：藤本壮介、椿 玲子（森美術館キュレーター） **対象：**学生（高校生以上）

日時：2025年8月26日（火）18:00-19:00 **料金：**1,400円 **申込開始日：**7月1日（火）

第2回

出演：藤本壮介、近藤健一（森美術館シニア・キュレーター）

日時：2025年10月28日（火）18:00-19:00 **料金：**3,000円 **申込開始日：**9月25日（木）

会場：森美術館展示室内（六本木ヒルズ森タワー53階）

定員：各40名（要予約、先着順） **お申し込み：**森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

■おやこでアート ファミリーアワー

0歳から小学生までのお子さまとご家族、妊娠中のプレママ・プレパパを対象としたプログラムです。開館前の美術館を貸し切り、小さなお子さま連れでも安心して、親子でゆったりと展覧会をご鑑賞いただけます。スタッフによるギャラリートークも実施予定。

日時：第1回 2025年7月19日（土）9:15-10:30

第2回 2025年8月29日（金）9:15-10:30

対象：未就学児、小学生（0-12歳）とご家族、現在妊娠中の方とご家族

会場：森美術館展示室内（六本木ヒルズ森タワー53階） **定員：**各80組（要予約、先着順） **料金：**無料 **協賛：**株式会社大林組

申込開始日：2025年7月1日（火） **お申し込み：**森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

■アート・キャンプ for Under 22 Vol. 14「6steps | 6段の階段 あいだの実践」

13歳から22歳を対象にした、学校でも家庭でもない場所で現代アートについて考えるプログラム「アート・キャンプ for Under 22」。今回は国際的な文化交流を目的に、森美術館が募集する10名に加え、Asia Culture Center（韓国・光州）から大学生10名が参加し、「6steps」(*)という6段の階段を使って動作の振付を考えるワークショップを行います。

身近に存在する階段を舞台にしたダンスをとらえて、身体と空間の関係性を探究しながら、人々の動きをデザインする建築について考えます。

* 振付家・ダンサーである木村玲奈さんが発起人となり、2020年から展開しているダンスプロジェクト

プレスリリース お問い合わせ 森美術館 広報事務局（共同ピーアール内）：幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

出演: 木村玲奈(振付家・ダンサー)、杉本音音(振付家・ダンサー)

舞台美術: 吉永晴彦(アーティスト)

日時: 1日目 2025年8月19日(火)14:00-17:00

2日目 2025年8月21日(木)11:00-16:00 ※全2日のプログラムです。

対象: 13-22歳 **会場:** 森美術館、六本木ヒルズ内 **定員:** 10名(要予約、抽選) **料金:** 無料

協力: Asia Culture Center

申込期間: 7月1日(火)-7月28日(月) **お申し込み:** 森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

*このほかにも、アクセスプログラム、スクールプログラム、パフォーマンスなどさまざまな企画を予定しています。プログラムの詳細やお申し込みなどの最新情報は、森美術館ウェブサイトにてご確認ください。 www.mori.art.museum

プログラムに関するお問い合わせ: 森美術館 ラーニング担当

E-mail: mam-learning@mori.co.jp

関連情報

■ 音声ガイド

本展出版作品の解説や見どころが収録された音声ガイドをウェブアプリにてご用意しています。藤本壮介本人と本展コラボレーターによるコメントも収録。日本語のナビゲーターは声優の森川智之さんが務めます。

*ご自身のスマートフォンをご持参ください。

日本語ナビゲーター: 森川智之

特別出演: 藤本壮介、倉方俊輔(建築史家、大阪公立大学教授)、宮田裕章(データサイエンティスト、慶應義塾大学教授)

ガイド件数: 全14件 **解説時間:** 約35分 **言語:** 日本語、英語 **料金:** 500円(税込)

企画・制作: スタイリンクス **監修:** 森美術館

森川智之

声優・ナレーター。アニメ「クレヨンしんちゃん」(野原ひろし)、「鬼滅の刃」(産屋敷耀哉)、ゲーム「ファイナルファンタジーVII」(セフィロス)などに加え、トム・クルーズ、キアヌ・リーブス、ユアン・マクレガーなどの吹き替えや、ナレーションも数多く担当。声優事務所・アクセルワン代表取締役を務める。



■ 展覧会カタログ

藤本壮介によるメッセージをはじめ、近藤健一(森美術館シニア・キュレーター)、倉方俊輔(建築史家、大阪公立大学教授)によるメイン論考、フレデリック・ミゲルー(ボンビドーセンター・パリ国立近代美術館副館長)、レアン・サクラモネ(カルティエ現代美術財団シニア・キュレーター)、椿玲子(森美術館キュレーター)によるショート・エッセイなどを掲載。展示風景をおさめた展覧会カタログであると同時に、近年の主要な藤本建築プロジェクトをまとめた作品集にもなっています。

サイズ: A4変型判 **ページ数:** 約300ページ(予定) **言語:** 日英バイリンガル

価格: 未定 **発売日:** 2025年8月11日(月・祝)予定 **編著:** 森美術館

発行: カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 美術出版社書籍編集部

販売場所: 森美術館 ショップ 53(六本木ヒルズ森タワー53階)、森美術館 ショップ(六本木ヒルズウェストウォーク3階)、森美術館オンラインショップ(<https://shop.mori.art.museum/>)

プレスリリース お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

■ 展覧会オリジナルグッズ

インク ―記憶のいろ―

価格：各3,600円(税込)

藤本の記憶にある美しい2つの色を、カキモリ(東京・蔵前)が万年筆用インクに仕立てました。何度も調色を繰り返して再現された、芽吹き of の明るいグリーンと夕暮れ of の淡いピンクは、どちらの色も詩的な文章を紡ぐことができそうです。展覧会オリジナルのつけペンとともに、手紙を書いてみるのはいかがでしょうか。

END OF THE DAY

輪郭がゆっくりと解かれていく時間

かたちあるものは光の余韻に包まれ、消えゆく空とともに、かたちのない風景へと移ろっていく

SPRING FOREST

芽吹き of の気配が、空間の内と外を曖昧にしながら広がっていく

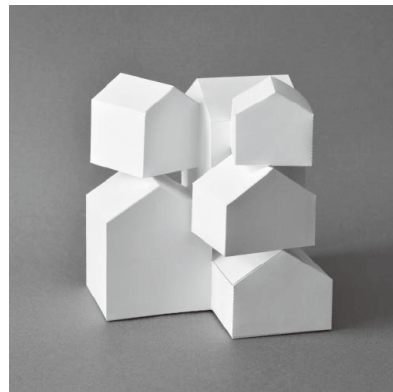
生命の揺らぎが、建築と風景の境界をにじませる



ペーパークラフト「東京アパートメント」

価格：2,200円(税込)

藤本が手がけた、三角屋根の独立したボックスが積み重なる《東京アパートメント》(2010年)の構造を、一枚の紙から組み立てて再現できるユニークなペーパークラフト。この複雑な立体構造を形作るには緻密さと工夫が求められますが、それだけに完成したときの達成感もひとしお。建築と工作の両方の楽しさが詰まっています。



たくさんの ひとつの コーヒー

価格：各300円(税込)

明るい酸味と華やかな果実の香りが特徴のドリップコーヒーは、藤本自ら選んだこだわりの味です。パッケージには、代表的なプロジェクトが描かれています。1個から気軽にお求めいただけますが、5個お買い上げごとにセット用の特別パッケージでお渡しします。

* 7月中旬に発売予定



お問い合わせ：森美術館 ショップ 53

Tel: 03-6406-6118 営業時間：10:00-22:00(祝日を除く火曜日は17:00まで) * 美術館の開館時間に準ずる

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原

Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

■「リピーター割」で2回目半額!

藤本約30年にわたる活動を網羅的に紹介する本展では、じっくりと展覧会をご堪能いただけるよう、「リピーター割」を実施します。森美術館オンラインチケットサイトでチケットを購入後、ご来場いただいた方に、2回目の鑑賞料金が半額となる割引クーポンを発行します。ぜひご利用ください。

期間: 2025年7月2日(水)～11月9日(日)「藤本壮介の建築」展会期中

対象: 森美術館オンラインチケットサイトで「藤本壮介の建築」展のチケットを購入し、使用した方

内容: オンラインチケットを使用した翌日に、会期中ご利用いただける半額割引クーポンを発行します。森美術館オンラインチケットサイトにログインし、「ご注文情報入力」画面で「クーポン情報／クーポンの利用」から「お手持ちのクーポンを使う」を選択、クーポンの選択から「藤本壮介の建築展リピーター割」を選択すると割引が適用されます。なお、クーポンの発行は1アカウントにつき1回のみとなります。また、他の割引との併用はできません。

■ オンライン限定! 7月は「学割」で500円引き

未来の都市像の提案を通し、建築の存在意義や可能性について考える本展では、学生の皆さんを応援するオンライン限定の「学割」を実施。7月に限り、森美術館オンラインチケットサイトでチケットを購入時に、学生料金が500円引きとなるクーポンを発行します。

料金: オンラインチケット500円引き ※学生料金限定

クーポン配布期間: 2025年5月30日(金)～7月31日(木)

クーポン割引対象: 2025年7月2日(水)～7月31日(木)の日時指定券

対象: 学生

※学生は高校、大学、大学院、短大、専門学校に通学する方

※来館時に身分証等をご提示ください

内容: 森美術館ウェブサイトに記載のクーポンコードをご確認ください。森美術館オンラインチケットサイトの「ご注文情報入力」画面で「クーポン情報／クーポンの利用」から「クーポンコードを入力して使う」を選択し、クーポンコードを入力すると割引が適用されます。なお、クーポンの使用は1アカウントにつき1回のみとなります。また、他の割引との併用はできません。

■ 平日4人揃えばお得! グループ割

森美術館オンラインチケットサイトで、平日の日時指定券を4枚以上ご購入いただくと、1枚分が無料になる「グループ割」を実施。比較的ゆったりご鑑賞いただける平日に、ぜひ4人以上でお誘い合わせのうえ、ご来館ください。

対象: 森美術館オンラインチケットサイトにて、一般4枚以上または シニア4枚以上の平日の日時指定券を購入の方

料金: [一般] 合計金額から2,100円(一般1名分)の割引

[シニア] 合計金額から1,800円(シニア1名分)の割引

販売期間: 2025年5月30日(金)～11月9日(日)

対象期間: 2025年7月2日(水)～11月9日(日)「藤本壮介の建築」展会期中

内容: 森美術館オンラインチケットサイトのチケット選択画面にて「日時指定券一般」もしくは「日時指定券シニア」のチケット枚数を「4」以上の数字で選択してください。その後、「ご注文情報入力」画面で「クーポン情報／クーポンの利用」から「お手持ちのクーポンを使う」を選択、クーポンの選択から「平日4人揃えばお得! グループ割(一般 | Adults)」もしくは「平日4人揃えばお得! グループ割(シニア | Seniors)」を選択すると割引が適用されます。また、他の割引との併用はできません。

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 幡井、日比、伊原

Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

「藤本壮介の建築：原初・未来・森」

同時開催小プログラムのご案内

会期：2025年7月2日(水)～11月9日(日) 会場：森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)

*「藤本壮介の建築」展チケットでいずれのプログラムも鑑賞可



MAMコレクションは、森美術館の収蔵品を、
多様なテーマに沿って順次紹介する展覧会シリーズです。

MAMコレクション020：

世界は小さな物語のなかに一下道基行、ヴァンディー・ラッタナ、
ジャン・オー(张鸥)、ツァオ・フェイ(曹斐)

主催：森美術館

企画：趙 純恵(森美術館アソシエイト・キュレーター)

国家や人種、歴史との狭間にある名もなき風景や人々の存在をテーマに、20世紀初頭から現代に至るまで変化し続けるアジア諸国と米国との歴史や影響関係を独自の視点で表現する、アジアルーツの4名のアーティスト、下道基行、ヴァンディー・ラッタナ、ジャン・オー(张鸥)、ツァオ・フェイ(曹斐)の作品を紹介します。



ツァオ・フェイ(曹斐)
《ヒップ・ホップ・広州》
2003年



MAMプロジェクトは森美術館が世界各地のアーティストと
実験的なプロジェクトを行うシリーズです。

MAMプロジェクト033：クリスティーン・サン・キム

主催：森美術館

企画：徳山拓一(森美術館キュレーター)

アメリカ出身でドイツ・ベルリンを拠点に活動するクリスティーン・サン・キムのサウンド・インスタレーションと新作の壁画を展示します。キムはこれまでドローイングをはじめ、映像、彫刻、インスタレーションなどを通して、音の非聴覚的な側面や、そこに潜む政治的な意味を探究してきました。ウィットに富んだキムの作品は、音と言語、コミュニケーションの複雑さを示しながらも、「伝える」ことの本質とその可能性をあらためて提示します。



展示風景：「クリスティーン・サン・キム：キューズ・オン・ポイント」
分離派会館(ウィーン)2023年
Courtesy: Secession and François Ghebaly Gallery
撮影：Oliver Ottenschläger

?! 展覧会関連プログラム

MAMプロジェクト033：クリスティーン・サン・キム
クリスティーン・サン・キム アーティストトーク

※日英同時通訳、手話同時通訳付

出展アーティストが、自作について語ります。

出演：クリスティーン・サン・キム(アーティスト)

日時：2025年7月2日(水)19:00-20:00(開場：18:45)

会場：森美術館オーデトリウム 定員：80名(要予約、先着順) 料金：無料

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内)：幡井、日比、伊原
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp